

ろうさい病院つうしん

病院情報誌 平成18年度 第1号 平成18年4月1日発行

発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>

●●●● 内視鏡検査はもう苦しくない ●●●●

~当院では近日中に「経鼻内視鏡」を始めます~

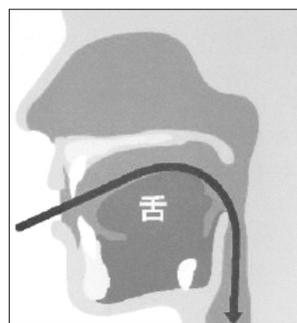
消化器科部長 村瀬 賢一



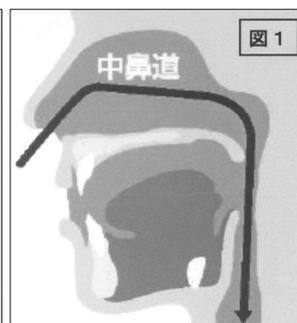
内視鏡検査と聞くと「もう二度とイヤ」という方も少なくないでしょう。定期健診でもひっかかりやすいのが胃の異状。つらい経験をされた方も多いはず。その常識を覆し心身ともに「楽な内視鏡検査」が登場しました。鼻からの挿入を可能とした「経鼻内視鏡検査」です。内視鏡検査を受けられたことのある方なら良くおわかりでしょうが、検査で「オエツ」という吐き気を催すことがあります。これは舌の付け根に内視鏡が触れることで咽頭反射が起こることが原因です。これに対して経鼻内視鏡では鼻から挿入した内視鏡が舌根にふれることがないので咽頭反射はほとんどありません。また鼻から挿入する内視鏡の大きなメリットの一つに検査中にしゃべれることがあげられ、検査しながら患者さんと医師のコミュニケーションが生まれます。

「鼻からのどへ、楽らく検診」これからは、患者さんに優しい経鼻内視鏡が主流になりそうです。

<従来の内視鏡>



<経鼻内視鏡>



<メリット>

- ・スコープは従来の半分5.9mmの細さです。更に、鼻に適したしなやかさでおりなく、スムーズな挿入ができます。
- ・鼻への麻酔も微量で、身体への負担が軽減されます。

消化器科 医師診察予定表 ◎部長 ○副部長

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	尾関 雅靖	◎村瀬 賢一 田中 紀子	◎村瀬 賢一 相田 佳代	◎村瀬 賢一	○中江 治道
午後 (14~16時)	◎村瀬 賢一		◎村瀬 賢一	胃ろう外来 (要予約)	

甲状腺結節性病変における超音波検査について



代謝内分泌内科部長 中山 幹浩

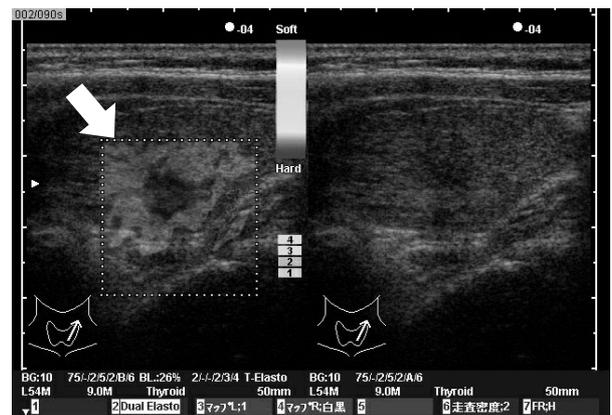
甲状腺結節の診断では触診・超音波検査を行い、悪性腫瘍が疑われた症例では必要に応じて吸引細胞診を施行し確定診断に至ります。超音波検査では通常のB-modeでの結節の性状観察以外にも、カラードップラーで結節内の血流状態を観察して良性か悪性かの鑑別診断を行います。超音波検査は多くの情報が得られ、簡便で非侵襲的な検査である一方、検査者の経験、技能によって検査成績、信頼性が変わってきます。近年の技術革新により、3D情報や組織弾性を超音波にて観察することも可能な時代へと進化してきています。吸引細胞診も超音波ガイド下に行うことで数ミリ程度の小さな腫瘍でも的確に診断可能となり、超音波検査は欠かすことができないtoolとなっております。

近年、新技術Real-Time Tissue Elastographyという新技術が搭載された最新式の超音波装置が発売され、表在組織の弾性を客観的に表現することが可能となりました。通常、腫瘍は悪性のものほど硬く、良性は柔らかい傾向にあり、かつて、甲状腺疾患において触診で得られる腫瘍の弾性を客観的に表現することは困難でありましたが、このReal-Time Tissue Elastographyは良性・悪性の鑑別診断にかなりの威力を発揮しており、最近では、甲状腺や乳腺のような表在臓器の結節性病変の診断には欠かすことができない検査となりつつあります。

当院では、平成16年度に愛知県でも先駆けてReal-Time Tissue Elastography搭載された導入最新式の超音波検査機器：日立EUB-8500が導入されて以来、甲状腺結節、特に悪性腫瘍である甲状腺癌の診断能力が飛躍的に向上しております。我々の行った検討では、Real-Tissue-Elastographyで悪性腫瘍が強く疑われた症例で

は、約90%以上の症例で細胞診の結果悪性腫瘍と診断され、また、逆に良性腫瘍と思われた症例はかなりの確率で良性腫瘍であることが判明しており、Real-Tissue-Elastographyによる甲状腺腫瘍および乳腺腫瘍の悪性・良性の鑑別診断における診断感度、特異度、正診率は約90%と報告されており効率的な確定診断が可能となっております。当院では超音波検査およびその後の超音波ガイド下吸引細胞診により毎月1～2名の甲状腺癌が発見されております。

甲状腺癌が発見される経過では、①触診で発見される甲状腺結節を指摘される患者以外にも、②バセドウ病や甲状腺機能低下症等の甲状腺疾患患者のスクリーニング検査で発見されたり、③近年では胸部・頭頸部CTや頸椎MRIで偶然に甲状腺結節性病変が発見されて精査の結果悪性腫瘍であると判明する患者が増加しております。偶然甲状腺結節が発見された患者はもちろん、種々の甲状腺疾患のある患者のスクリーニング検査を、是非ともご依頼頂けたら幸いに存じます。



Elastographyのイメージ：実際はカラー・イメージ矢印部分が弾性度の高い悪性腫瘍

糖尿病センター 医師診察予定表 ●副院長 ◎部長 ○副部長

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
◎河村 孝彦	●佐野 隆久	堀田 饒 (院長)	◎河村 孝彦	●佐野 隆久
○金井 彰夫	◎中山 幹浩	●佐野 隆久	◎中山 幹浩	◎中山 幹浩
宇野 智子	(長嶋 正仁)	○金井 彰夫	長嶋 正仁	中村 信久

インプラント治療における 新しい試み

歯科口腔外科副部長 西川 雅也



インプラントを用いた咬合再建が行われるようになって30年以上がたちました。当初インプラント治療は咬合機能の再建が目的であり、歯を失った患者さんがしっかりかめることが重要課題でした。しかし時がたち、インプラントの技術が確立されると、咬合機能の回復だけでなく第三の歯として審美性も重要視されるようになりました。さらには骨量が少なく従来インプラント治療を行うことが難しい症例に対しても、骨移植を行いインプラント治療を行うことが可能となりました。

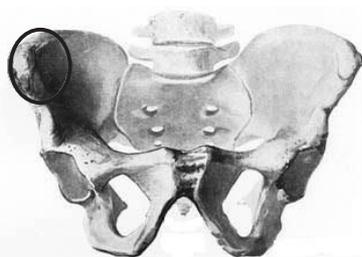
現在骨移植を行う場合、腸骨から骨の採取を行う方法がスタンダードとして行われています。この方法は口腔内から骨を採取する場合と比較して採取できる骨量が多いというメリットがありますが、術後の歩行障害が数週間にわたり出現するため、患者さんのQOL (quality of life) が低下するという問題がありました。このためインプラント治療に二の足を踏んでいる患者さんも見えました。

この問題を解決するための新たな試みとして、当科では脛骨から骨採取を行う方法を取り入れました。この方法では従来の腸骨移植術と比べて術後の歩行障害が起こる期間が短く、また採取可能な骨量も十分であるというメリットがあり、今後のスタンダードとなると考えられます。

当科ではこのような新しい治療法を取り入れ、低侵襲でのインプラント治療を行いたいと考えております。インプラント治療でお困りの際はぜひ当科にご相談ください。また手術見学の受け入れや症例検討会も行っておりますので、ご利用いただけると幸いです。

歯科口腔外科の受診は、完全予約制です。
平日14時から16時の間に
052-652-9731 (歯科口腔外科直通) へ
お電話してください。

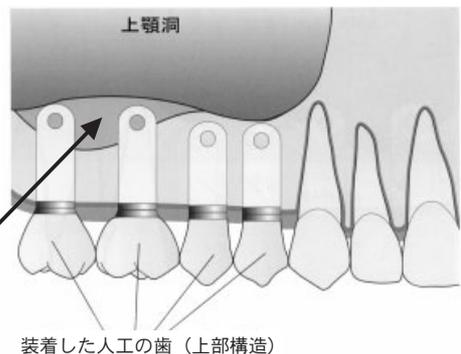
腸骨移植における骨採取部位



頸骨移植における骨採取部位



サイナスリフトにおけるイメージ図 (下)



ここに埋めます

連携室だより

暖かい気候となってきましたが、皆様お元気に過ごしていらっしゃいますか。当院では人事異動が行われ新しいスタッフ共々新たな気持ちで新年度をスタートさせております。今年度もよろしく願い申し上げます。

人事異動

辞職 (平成18年3月31日付)

樋下田 稔明	救急部部长
	(脳神経外科医師兼務)
渡邊 拓	麻酔科副部長
長谷川 真一	神経内科医師
松岡 京子	形成外科医師
小幡 哲嗣	心療内科医師
横山 寛	心療内科医師
津田 弘之	産婦人科医師
古田 祐子	眼科医師
小池 康弘	整形外科医師
宮本 和幸	2年次研修医
依田 周	2年次研修医

採用 (平成18年4月1日採用)

加藤 友紀	形成外科副部長
梅村 充史	眼科医師
朝野 泰成	心療内科医師

転出 (平成18年4月1日付)

岩坪 均	医事課長
------	------

転入 (平成18年4月1日付)

鴫 一親	医事課長
------	------

休職 (平成18年4月1日～平成20年3月31日)

池田 篤彦	耳鼻咽喉科医師
-------	---------

補職 (平成18年4月1日付) (一般医師より副部長へ)

立松 寿	小児科副部長
宇野 雄祐	外科副部長
佐原 佳之	脳神経外科副部長
植谷 忠之	循環器科副部長
中江 治道	消化器科副部長
金井 彰夫	代謝内分泌内科副部長
伊藤 圭吾	整形外科副部長
丹羽 英康	眼科副部長
金子 弘史	呼吸器内科副部長

胃ろう外来

胃ろう交換は勿論のこと、皮膚トラブルや栄養トラブルなどもサポートさせていただきます。

消化器科をはじめ、形成外科、NST(栄養サポートチーム)、WOC(創傷・オストミー・失禁)認定看護師などと連携しフォロー体制を整えております。

毎週木曜日 14時～16時

ご予約に関しましては、お手数ですが下記連絡先までお願い致します。

CT検査

CT検査についてですが、予約当日の撮影が可能となりました。

予約受付：午前中にお願ひします
 撮影時間：14時から16時の間
 撮影場所：旧館CT室

ご予約に関しましては、お手数ですが下記連絡先までお願い致します。

救急搬送

当院へ救急車にて搬送された患者さまに「かかりつけ医」がいらっしゃる場合、そのかかりつけ医に対して受診報告をさせていただきますよう改善致しました。

地域医療連携室 (平日8:15～19:30)
 052-652-5950 (TEL)
 052-652-5716 (FAX)

室長：小林 建仁 (副院長)
 佐野 隆久 (副院長)
 事務担当：河野奈々・金井久実